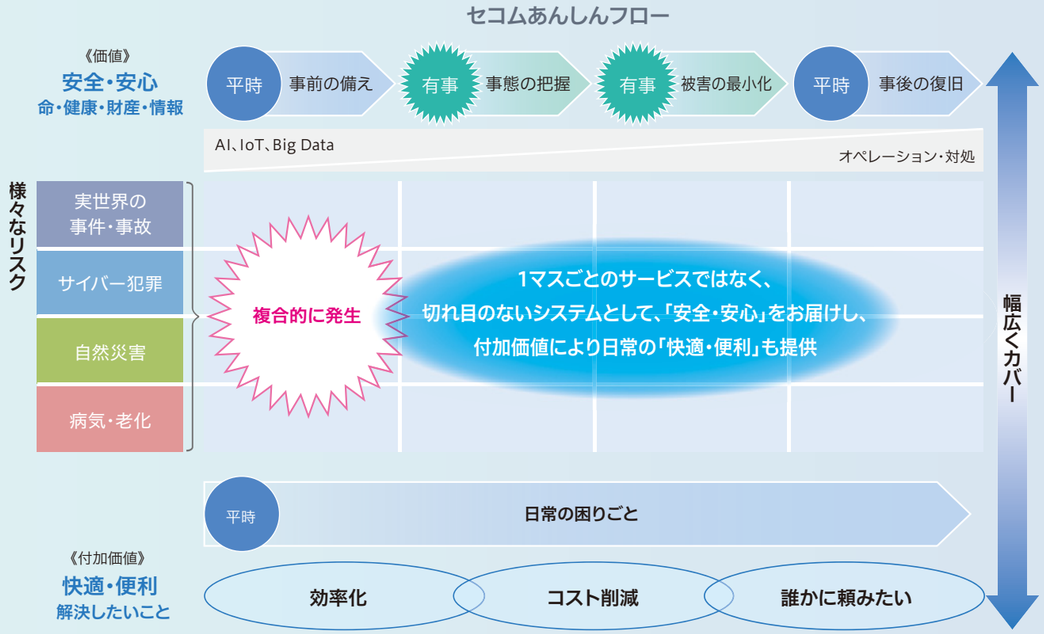
変わりゆく社会に、変わらぬ安心を。変わり続けるセコム。

きめ細やかな切れ目のない安心を提供する社会インフラ「あんしんプラットフォーム」

社会課題が複雑化・複合化する中で「安全・安心」は、ますます必要不可欠なものとなり、一人ひとりが求めるニーズは、より多様化しています。セコムは、“いつでも・どこでも・誰にとっても・切れ目のない安心”を提供する「あんしんプラットフォーム」構想の実現をめざす「セコムグループ2030年ビジョン」を2017年に策定しました。「あんしんプラットフォーム」とは、セコムが培ってきた社会とのつながりをベースに、セコムと想いを共にする産・官・学などのパートナーが技術や知識を持ち寄り、暮らしや社会に安心を提供する社会インフラのことです。

「事件・事故」「サイバー犯罪」「自然災害」「病気・老化」といったリスクに対して、平時は「事前の備え」を怠らず、有事には「事態の把握」と「被害の最小化」に努め、「事後の復旧」を迅速に行うことが重要です。セコムはこれら4つの要素を「セコムあんしんフロー」と定め、あらゆるリスクに対して“切れ目のない安心”を提供できるよう、サービスやシステムを進化させています。

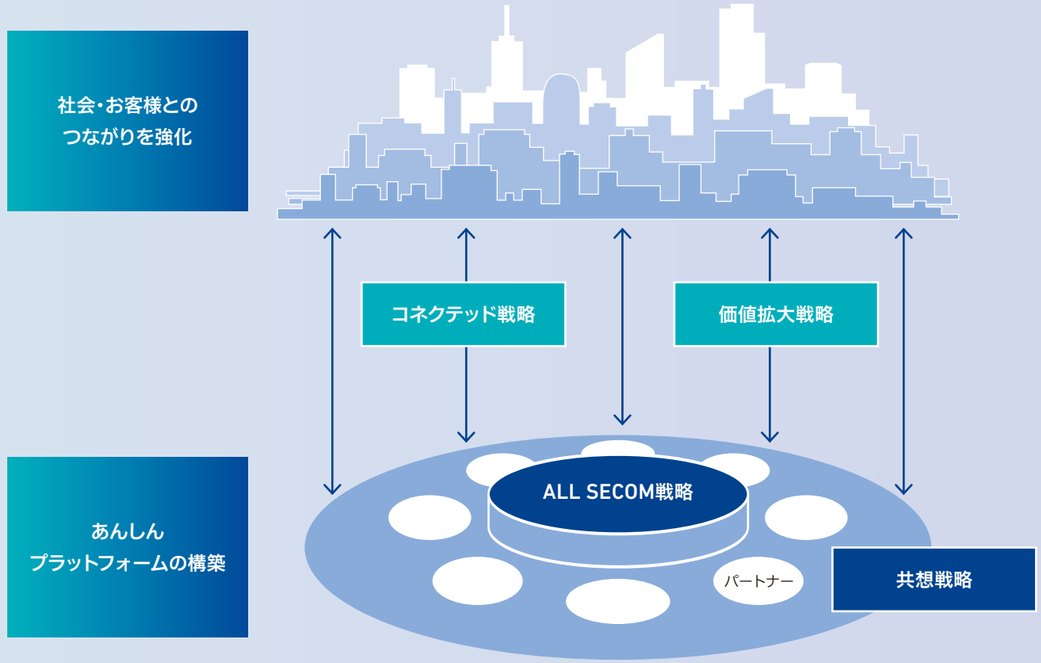
「あんしんプラットフォーム」構想で実現をめざすサービス概念図



「あんしんプラットフォーム」構想実現のための戦略

セコムは、「あんしんプラットフォーム」の構築に向けて、グループの総力を結集する“ALL SECOM”戦略や、オープンイノベーションにより新たな価値を創出する“共想”戦略を推進しています。また、最新の情報技術を活用したビッグデータ分析により、お客様の潜在ニーズに応え、つながりを増やしていく“コネクテッド”戦略や、付加価値として快適・便利なサービスを提供する“価値拡大”戦略を展開しています。

海外でも高まる安心へのニーズに対しても、日本で培ったノウハウを生かしながら、現地のニーズに適応したサービスをグローバルに展開して、SECOMブランドの浸透とともに「ANSHIN」を世界の共通語にしていきます。



2028年3月期を一里塚としたロードマップ

「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、2028年3月期までにめざすべき方向性をステークホルダーの皆様と共有すべく、2023年5月には、「セコムグループ ロードマップ2027」を策定しました。

近年の社会変化は著しく、テクノロジーがめざましく進化する一方で、国内では労働力人口減少や高齢化、体感治安の悪化が見られており、自然災害の頻発化・激甚化、世界的なインフレの進行など、多くの社会課題が頻発しています。

セコムは、こうした課題から生じる様々なニーズを的確にとらえ、多種多様なパートナーとのオープンイノベーションを継続しながら、新たなサービスとして提供していくことで、あらゆる場面で確かな「安全・安心」を提供すると同時に社会課題の解決にも貢献し、社会とともに持続的成長を図っていきます。

「セコムグループ ロードマップ2027」における5つの重点施策

セコムが培ってきた高度な技術と豊富なノウハウを生かして5つの重点施策に取り組むことで、あらゆる場面での「安全・安心」の提供をめざしていきます。

Road Map 2027 ー高度な技術と豊富なノウハウを活かし、あらゆる場面での安全・安心を提供ー

重点施策	今後の取り組み
見守り・セキュリティ	**セキュリティを中心とする新たなサービス・ソリューションの提供** • みまもりクラウドを活用し、様々な情報を連携することで、切れ目のないみまもりを実現 • 堅牢なセキュリティとオープンなクラウドを融合させたビジネスインフラへの進化
海外	**市場拡大が見込まれる海外市場で更なる成長を実現** • セキュリティ・メディカル分野における既存ビジネスの深耕 • 未進出地域・新規分野における新たな事業ポートフォリオの拡大を推進
BPO・ICT	**お客様の事業運営を支えるインフラ基盤を提供** • サービス提供基盤としてのデータセンターやネットワークの拡充 • 円滑な事業運営を支える各種ソリューションの拡充、BPOサービスの提供
生産性向上	**サービス価値の最大化と業務効率化を通じて生産性向上を推進** • これら重点施策の実行により、新たなサービスを次々と提供し、サービス価値を最大化 • 最新の技術を活用しながら、社員一人ひとりのポテンシャルを引き出し、業務効率を向上
ステークホルダー	**ステークホルダーから選ばれ続ける会社づくりを推進** • 従業員エンゲージメント向上等の環境整備を通じ、人財の確保・育成を継続的に推進 • 全てのステークホルダーから信頼される存在になるためのサステナビリティ活動の推進

「セコムグループ ロードマップ2027」の進捗

見守り・セキュリティの進化

みまもりサービスのさらなる進化

AIや5G、クラウドといった技術を活用し、セキュリティを中心とする新たなサービス・ソリューションを提供します。

家庭向けでは、ホームセキュリティとみまもりクラウドを連携させることで、ご利用者を切れ目なく見守り、家族や介護事業者などに向けた様々なサービス展開を進め、日常生活のあらゆる場面で「安心」を提供していきます。

最近の取り組み
- クラウド・アプリ連携による「安否みまもりサービス」(2021/6開始)→P33
- ロボットを使ったシニア向けのコミュニケーションサービス「あのね」(2023/4開始)→P33
- 「Apple Watch」の転倒検出機能と連携、日常の健康管理もサポートする「YORiSOS」アプリを配信(2023/4開始)→P33
- 携帯操作に不慣れなシニア向け「セコムみまもりホン2」(2024/2開始)→P34

堅牢なセキュリティとオープンなクラウドの融合

事業所向けでは、システムセキュリティ「AZ」を軸にオープンなクラウドサービスとの融合により、お客様の事業運営を支えるビジネスインフラへとサービスを進化させていきます。

最近の取り組み
- 大規模施設にも対応した入退室管理システム「AZ-Access」(2023/5開始)→P32
- カメラ映像を業務効率化に活用する店舗管理向けウェブサービス「dot-i」(2023/7開始)→P32
- 「AZ」「AZ-Air」による新たな画像監視サービス「インタラクティブセキュリティサービス」(2024/7開始)→P32
- 「AZ」シリーズとロボットの相互連携規格「SECOM AZ Certified」を確立(2024/6)→P32

安全商品のSaaS化

オンライン・セキュリティシステムを補完する安全商品を、セコムのノウハウを生かした安全・高度・シンプルな「クラウド時代のサービス」へと進化させていきます。

最近の取り組み
- 施設の入退室管理をクラウドベースで提供「セコムクラウド型アクセスコントロール」(2023/12開始)→P32

警備業界のDXを推進

セコムのシステムやノウハウを、想いを共にする業界各社へ提供することで警備DXを推進、ひいては地域や社会全体の「安全・安心」の品質向上を牽引していきます。

最近の取り組み
- 画像AIを搭載したセキュリティドローン「セコムドローンXX」の開発(2023/10)→P33
- 子会社(株)セノンがセコム(株)の最新技術やDXを活用した施設警備体制の構築をめざし実証実験(2024/5〜2025/3)

海外事業の強化

市場拡大が見込まれる海外市場でのさらなる成長に向け、セキュリティとメディカルの分野における既存ビジネスの深耕とともに、未進出地域・新規分野における新たな事業ポートフォリオの拡大を推進します。セコムブランドを世界に浸透させオーガニック成長を加速するとともに、M&Aを積極的に活用し、海外売上高比率10%をめざしていきます。

最近の取り組み
- クラウドを活用したインタラクティブなセキュリティシステムの提供地域拡大→P35
- 北米を中心にクラウドを活用してSaaS事業を展開する世界的セキュリティ企業Eagle Eye Networks社およびBrivo社に出資(2023/5)→P35
- タイでの高齢者向け見守りサービス「セコム・スマートセキュリティ・ケア」(2024/3開始)→P35
- セキュリティサービスでアイルランドに進出(2024/7)→P35
- インドのベンガルールに先進医療も提供できる第2病院の建設決定(2027開院予定)→P39

BPO・ICT事業の強化

サービス提供基盤としてのデータセンターやネットワークの拡充に加え、円滑な事業運営を支える新たなSaaSソリューションや業務効率向上に寄与するBPOサービスを拡充・開発します。セコムの情報セキュリティ技術や24時間365日のオペレーション体制を中核に、お客様の事業運営をデジタル面で支えるインフラ基盤を提供していきます。

最近の取り組み

- (株)TMJが生成AIによる「次世代コンタクトセンタープロジェクト」を立ち上げ(2023/6)→P43
- アルテリア・ネットワークス(株)の発行済株式総数の1/3を取得(2023/10)→P43
- (株)アット東京の新データセンター(CC3)がサービス開始(2024/7)→P43
- セコムトラストシステムズ(株)がデータセンターを増設予定(2025/10)→P43

生産性向上

テクノロジーを活用した生産性の高い新たなサービスを次々と展開することでサービス価値の最大化を図るとともに、社員一人ひとりのポテンシャルを引き出し、業務効率を高めることで生産性向上を推進します。

最近の取り組み

- 現場の業務量の適正化
- 組織・プロセスの見直し
- 社内ITシステムの刷新

ステークホルダー重視

セコムグループのサービス提供を支える人財の確保・育成に継続投資し、多様性拡大、well-being向上、能力の向上開花のための環境整備に取り組みます。すべてのステークホルダーから信頼される存在であり続けるために、経営戦略とサステナビリティの一体化を加速していきます。

最近の取り組み

- 定期昇給、3年連続ベースアップ、諸手当の充実などによる処遇改善
- 社員への譲渡制限付株式の付与(2024/3)
- 女性の職域拡大と女性リーダーの育成
- 社内外の研修・教育機会の提供拡充
- 再生可能エネルギー利用にバーチャルPPAを活用(2024/3〜)→P63

財務戦略と定量目標

財務戦略は、健全な財務体質を維持しつつ、株主還元の強化を図り、配当性向は45%前後を目安としています。さらに、資本コストを意識した成長投資の実施に努めると同時に、ROE10%を目標とし、その実現に向け、適切なタイミングで自社株買いを実施していきます。

今後もセコムは、「セコムグループ2030年ビジョン」のもと、収益拡大や生産性向上を図る投資を継続し、本ロードマップでの取り組みを投資家の方々と共有しながら建設的で質の高い対話の機会を充実させ、2028年3月期に向けた定量目標の達成と企業価値の向上に取り組んでいきます。

ご参考までに、日本会計基準による2028年3月期の目標を以下に記載します。

	2024年3月期実績	2028年3月期目標
連結売上高	11,547億円	12,500億円以上
連結営業利益	1,407億円	1,600億円〜1,800億円
配当性向	39.4%	45%前後
ROE	8.5%	10%